

WALKING MAP

にみち
～自然の小径～

黒潮を感じる散歩道

1.5 kmコース (標準タイム: 約40分)

気楽に歩ける散歩道



休暇村南紀勝浦

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町宇久井

TEL 0735-54-0126

9 松尾展望広場

小さなトンネルのような小道を抜けると、木々の間から海を眺められる広場に出ます。広場のさらに奥まで進むと、すぐ目の前に熊野灘を見下ろす断崖絶壁の迫力ある景色が広がります。右手には、勝浦の名物「らくだ岩」も見え、よく晴れた日には遠くの太地町まで見えます。左手には、熊野灘の荒波によって形成された海食洞があり、雄大な景観を作っています。



10 ヤブツバキ散策道

松尾展望広場までの遊歩道では、2月～3月にヤブツバキの花がたくさん観察できます。特に3月はヤブツバキの花で出来たじゅうたんの上を歩くようで、とても素敵です。宇久井ビジターセンターでは、夏場赤く染まって地面に落ちた実を集めて椿油を抽出する体験会を行なっています。椿油は食用や化粧品など多目的に使用することができます。



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行いましょう。

6 上野(うわの)展望台

この展望台は海に突き出た宇久井半島の先端付近に位置するため、宇久井の町を見渡すことが出来ます。休暇村の朝のお散歩会でもご案内している場所で、冬場はちょうど日の出の時刻に間に合うと、水平線からゆっくりと昇る真っ赤な日の出を望むことが出来ます。舗装された道路を通るので、小さなお子様でも気軽に楽しめる場所です。



7 駒ヶ崎灯台



駒ヶ崎の先端には、真っ白な灯台がそびえ立っており、熊野灘の広大な景色が目前に広がります。勝浦方面の海を一望できる絶景ポイントです。6月頃、途中の遊歩道ではヤマモモの実やモチノキを観察できます。地玉浜から眺められるウミウの越冬地は、この駒ヶ崎の東側の断崖にあたります。

8 地玉(じごく)浜

砂浜ではなく、ゴツゴツとした岩場の海岸です。岩と岩の間でできるタイドプールでは生物の観察が出来ます。海岸に立って右手を見ると岩肌をむき出した断崖が目に入りますが、ここはウミウの越冬地になっています。地玉浜までの遊歩道の途中、ロープを使って降りる急な道もあるので、足元には注意が必要です。



① 外の取海岸

休暇村から一番近い磯場です。貝類の生態観察や磯遊びなど、幅広く楽しむことができます。生息する代表的な生物は、イワフジツボ・カメノテ・ヒザラガイ・ベッコウガサガイなどです。他にも、鮮やかなオレンジ色が特徴のハマカンゾウや小さなピンク色の花を咲かせるハマエンドウなど植物も多様です。



② 外の取遊歩道

外のトリ海岸へと続く休暇村の裏手にある階段道は、たくさんの植物や生物に出会えます。遊歩道を歩くとアカテガニが一斉にガサガサと恥ずかしそうに道の脇に隠れます。6月頃にはアオノクマタケランが綺麗な白い花をあちらこちらに咲かせ、夜になればシイノトモシビダケが観察できます。シイノトモシビダケは全国でも数ヶ所でしか発見されていない淡く緑に光る大変めずらしいキノコです。また、5月下旬～6月中旬には森に生息するヒメボタルが多く見られ、とても幻想的です。



③ 上地(うえじ)の浜

沈む夕日が美しく、眺めていると時間がたつのを忘れてしまいそうです。優しい海風にあたりながらゆっくりとお散歩してみてください。沈む夕日が美しく、眺めていると時間がたつのを忘れてしまいそうです。優しい海風にあたりながらゆっくりとお散歩してみてください。



④ 釣り場

休暇村の坂を下り、蛭子神社跡地を左に曲がると、早朝から釣り人が集まる人気の釣り場があります。右手に鍋島を見て奥に進むと、少し先の方に赤灯台が見えます。この釣り場から赤灯台まで直接渡ることは出来ないのですが、地元の釣りファンは裏手の山道をかきわけて灯台付近まで行き、釣りを楽しむのだとか。この場所は釣り以外にも、クロフジツボやカメノテなど、岩場を覗くと貝類の生態観察を楽しむことができます。



⑤ 南紀勝浦あじさい坂

休暇村南紀勝浦までの坂道は、春は桜、梅雨時期はあじさい、夏はハマユウ、冬はヤブツバキと四季折々の表情を見せ、休暇村を訪れるお客様を楽しませてくれます。特に梅雨時期のあじさいにはたくさんの種類があり、「墨田の花火」「虹」「うすあじさい(別名：おたふくあじさい)」など、変わった名前の品種も多く咲いています。ゆっくり散歩しながら、種類を見比べてみてはいかがでしょうか。

